

# 目は目・オウの目・トリ目 ⑨

～ 嘘 は 泥 棒 の 始 ま り か ～



福岡女学院大学客員教授

齋藤 裕三

見栄っ張り、お調子もん、オーマン（いかげん）。だが、いざという時は男らしくきちんと筋を通す。  
筆者が大好きな、こんなハカタンボーイは、とくにレッドブック中の、絶滅危惧種になってしまったとやろつか、残念。  
昨年11月の衆議院選挙で、福岡2区か

ら民主党公認候補として出馬した古賀潤一郎氏(45)が、大物の自民党副総裁、山崎拓氏を破って初当選を果たした。

若さと新鮮さと国際化を印象づけた、爽やかな勝利、世代交代に見えた。

ところが、同氏の学歴について、1月中旬、突如疑義が提出された。

立候補届の書類に、同氏は、米国カリフォルニア州のペパーダイン大学を卒業したかのような記載をしていた。

真偽について、直接照会を行った日本のマスコミに対して、大学当局は「古賀氏は大学に在籍はしたが、卒業はしていない」と回答した。

古賀氏はマスコミの報道に対し、「自分としては卒業したと思っている。1982年当時、永住権のことで接触していた弁護士からそう聞いた」と反論し、1月21日、「自ら確認する」としてアメリカへ旅立った。

23日には、同氏のホームページに記載されていた大学名 UCLA (カリフォルニア大ロスアンゼルス校) を、事務所が CSULA (カリフォルニア州立大ロスアンゼルス校) に変更。しかし、同氏の指示で再び UCLA に修正された。

現地で、大学当局から再度「卒業」を否定され、前記弁護士とも会えなかった古賀氏は、26日午後帰国し、「調査を続け

## 又物の豊勝

①議員は辞めない②議員報酬を返上する③不足する単位を、議員活動を続けながら

る」とマスコミに語った。

翌27日朝、古賀氏は福岡市南区の西鉄大橋駅前の広場に立ち、集まった市民に、

取得する——と悲痛な叫びで訴えた。これに対し、朝日新聞は、28日付朝刊に「古賀氏が問われているのは、議員報酬がどうのこうののではない。まして、単位を揃えてペパーダイン大学の卒業生になることでもない」、「何という勘違いであらうか、こんな主張が通るはずもない」という社説を掲載した。

古賀氏は、27日には民社党に対し離党届を提出し、党が受理すること一応の決着が図られるかを見えた。だが、党外はもちろん、党内からの批判も日増しに強まり、民主党執行部は、29日午前、臨時常任幹事会を開催し、古賀氏の問題は、民主党自体に影響を及ぼしかねないとして、同氏を除籍(除名)処分とすることを、満場一致で決議した。

以上が、本日1月29日までの事の成り行きである。古賀氏は、除籍を受け入れ、それでも議員辞職はしないとしている。この件は今後どう進展するのだろうか。

さて、「嘘は泥棒の始まり」とやら。でもほんとかな。少なくとも古今東西「嘘イコール悪」の方程式は成立していない。



### 物(もの)・コミュニケーション

販売促進商品を通じて、業績アップのお手伝いをいたします。



株式会社 都屋

販売促進企画・ギフト・旅行業・サイン(看板)事業

〒810-0004 福岡市中央区渡辺3-6-22 TEL 092-771-8833 / FAX 092-781-5221

古くは、英国のチャールズ作『カンタベリー物語』、1500年代初頭に出版されたドイツの民衆本『ティル・オイレンシュピーゲル』も、物語の主人公が強欲な宿の主人や親方を、嘘で手玉に取り、民衆のもやもやを吹き飛ばす。

広島県の吉備津神社では、節分の夜に「つそつき大会」が開かれ、話上手が自慢のつそ話を話し合う。

山形県上山市の福聚寺(現在は廃寺)では、かつて正月15日夜、ほら吹き大会が行われた。優勝者には、「法螺の吹藏」「嘘の語郎」という名号ある称号が与えられ、1年間の人足が免除された。

身近なところでは、1月7日夜、太宰府天満宮の「鷲(つそ)替え」もある。つそというトリの玩具を交換しあうことで、1年間の不幸をつそとして払ってしまい、新しい年や幸運を迎えるという。

以上のように、嘘は決して「泥棒の始まり」として白視されたのではない。人々は、近代とは異なった寛容な目で見ただけでなく、つそにむしろ積極的な役割を認めていたよつである。

航空会社OBの筆者も、まだ杖はつかないが、空々しい嘘をずつとつきつし。

昔、太平洋をいつも往復していた、カ

## 刃物の豊饒

一ネル(大佐)Tというお客様

がいた。日系のアメリカ人というふれこみだった。日米双方の政界人に知己が多いので、日米外交の重要なブローカー役を果たしている、というのがご自慢だった。

カーネルTは、予約があるのになかなか羽田空港に現れず、国際線の出発前30分頃電話してきて

「オレだ。カーネルTだ。今銀座で重要な話をしている。オレが行くまで飛行機を待たしておけ」

と電話で怒鳴るのが常だった。

確かに交渉がうまくいった。ある時、飛行機が揺れコーヒードがかった。スチュワーデスが謝ると、カーネルTはポケットから壊れた時計を出して言った。

「わかった。ではこの時計を次に乗る時まで修理しておいてくれ」

ある時、こんな記事が週刊誌にでた。アメリカの大学が、日本で大卒の学歴のない中小企業の社長に目をつけ、論文を代作し、博士号を授与するというのである。

博士号を授与された社長は200万円くらい寄付する。大卒の学歴のないことに引け目を感じる社長には博士号を、学校には金を、まさに商取引である。

週刊誌には、房のついた四角の帽子とガウンをまとい、博士号を手にした経営者の晴れがましい写真が載っていた。

あっと驚いたのは、仲介者として、あのカーネルTが次のページを飾っていたことである。カーネルTは、大学というビジネスの博士号セールスマンだった。さらに唾然とした事があった。日本の某大学の教授に、その博士号をもとに審査を受け、教授に就任した人がいた。その教授は、某企業を定年退職した後、退職金を博士号取得に投資したのである。

経営学関係の博士号が、街の中小企業経営者の飾りになるのは結構である。しかし、代作論文で教授になった先生から、指導を受ける学生がかわいそう。

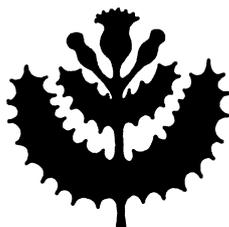
世の中は、人をえてして学歴や肩書きで評価する。だから悪気なしについ嘘の学歴を書く。気持ちもわかるし、通常はそれで苦情が出ることはない。でも、公人となるとまた別の話である。

だから、これからは学歴や肩書きで人を評価するのを止めよう。人間を評価するのは、人間性や人間の価値自体であって、学歴や肩書きではない。そんなものは重視しないという世の中に変われれば、今度のような問題は起こらないはず。

ところで、筆者はケンブリッジ大卒です。ついでにオックスフォード大学にも通いました。凄いでしょう。卒業証書は弁護士に預けてあります。

あっ、しまった！  
エイプリル・フールは来月だった。

CLUB AZAMI



博多区中洲4丁目1-37  
TEL 代表 (281) 0417